

## 2. 目標設定と成果主義(1)

組織目標	タイムライン
国連ミレニアム開発目標	2015
↓ ホワイトペーパー(1997 & 2000)	2015
↓ PSA / SDA	3年(2003-2006)
↓ 局長計画書(DDP: Director Delivery Plan)	3年(2003-2006) 年次アップデート
↓ CAPs / ISPs / SLAs *	3年年次アップデート
↓ 部計画書(DDP: Departmental Delivery Plan)	年次
↓ チーム目標	少なくとも年1回アップデート
↓ 各職員開発目標	年次(6か月ごと見直し)

国別援助計画 (CAPs: Country Assistance Plans)  
 機関別戦略書 (ISPs: international Strategy Papers)  
 サービスレベル協定 (SLAs: Service Level Agreement)

## 2. 目標設定と成果主義(2)

DFIDが設定する目標の特徴

- (イ) 上位目標の多くは、DFID単独で達成できる目標ではなく、国際社会全体が目指すべき目標が掲げられている。
- (ロ) 客観的な評価を可能とするため、定量的な指標が多く採用されている。  
例: 5歳未満の乳幼児死亡率を158から139に減少させる。
- (ハ) 開発との関係がある外務省、経済省や国防省との共通目標が存在する。  
例: 2005年までに途上国の貿易機会を阻害する貿易障壁を大幅に削減する。

## 2. 目標設定と成果主義(3)

### Public Service Agreement (PSA)

財務省に提出する3ヵ年公共サービス計画書。毎年レビューが行われる。

#### PSAの5つの目標

目標1: アフリカの主要16ヵ国においてMDGsを進展させる。

目標2: アジアの主要4ヵ国(バングラ、インド、パキスタン、中国)においてMDGsを進展させる。

目標3: 国際機関による援助の効果を改善する。

目標4: 2005年までに途上国の貿易機会を阻害する貿易障壁を大幅に削減する。

目標5: DFIDの2国間プログラムの内、低所得国向けの比率を78%から90%に引き上げる。また、「成功」と評価される二国間プロジェクトの数を恒常的に増加させる。

## 2. 目標設定と成果主義(4)

### Directors' Delivery Plan (DDP)

PSAを実現するための各局の目標計画書

アジア局のDDPの評価では、設定した37の指標がどれだけ達成できているかが問われ、37のうち少なくとも25の指標の達成が求められる。

### 3. 知識共有と組織マネジメント(1)

#### (イ)知識共有 (knowledge sharing)

現場における援助の効率性のみならず、組織及び仕事の効率性を高めることにも取り組んでいる。

省内LAN Insight

PRISM (Performance Reporting Information System  
for Management)

ビデオ会議機材(局長以上の執務室に装備)

### 3. 知識共有と組織マネジメント(2)

#### (ロ)組織マネジメント

Performance & Effectiveness Department (PED)の役割

- 個人のパフォーマンスを向上させるための組織的サポートの提供  
Insight, PRISMの管理、研修、マニュアルの作成
- 統計の管理、在外事務所の会計処理へのサポート
- 快適な職場環境の維持  
1日7時間、週35時間の勤務、職員用ジムの設置

Performance ManagementとCorporate Managementの徹底

### 3. 知識共有と組織マネジメント(3)

#### (ハ)管理運営委員会 (Management Board)

年1回、次官を含めた6人の幹部が各局のパフォーマンスを審査する。具体的なプロジェクトの進捗状況や現状報告といった詳細に立ち入らず、DDPに基づいて局が行っている活動の貧困削減に与えるインパクト、予算配分、人材の配置等につき包括的な評価が行われる。

今年のMBから、ビデオ会議システムを通じ、本省職員及び一部の在外職員の傍聴が開始された。

